



こんにちは。今年も早いものであつて、12月になりましたね。皆さまの園ではいかがお過ごしでしょうか…発表会やクリスマス会などの準備も行われているかもしれませんね。

さて今回は、全国保育士会について紹介していきたいと思います。

### 【11月29日は何の日？！】

突然ですが11月29日が何の日かご存じでしょうか？——そうです！『保育士の日』です！

この日は、2003年11月29日に児童福祉法の改正が施行され、それまで「保母・保父」と呼ばれていた資格が正式に「保育士資格」として国家資格となったことを記念する日です。全国保育士会では、保育士・保育教諭が専門職として担う役割を社会に広め、理解を深めていただくためにPRポスターを作成し、全国の園で掲示していただいている。当園でも玄関に貼り出され、子どもたちがお友だちや保護者の方と嬉しそうに見てくれています。

### 【全国保育士会倫理綱領】

保育士が国家資格となった2003年に策定された『全国保育士会倫理綱領』は、専門職としての責務と姿勢を社会に示すものです。

倫理綱領に示されている内容・意義を理解し、一人ひとりが適切な認識をもち、日々の保育の中で意識的に行動へつなげていくことが大切です。



**私たちは、子どもの育ちを支えます**

**私たちは、保護者の子育てをささえます**

**私たちは、子どもと子育てにやさしい社会をつくります**



『全国保育士会倫理綱領』を『日々の行動で大切にすること、として、常に自らの人間性と専門性を見つめ直し、より良い保育をめざしていくことが、子ども一人ひとりの最善の利益の実現につながっていきます。

### 【食育推進ビジョン】

2012年度、保育における食育の取り組みをより明確かつ計画的にすすめるために、『全国保育士会食育ビジョン』が策定されました。

これは、保育の中で食育をどのように捉え、どのように実践していくのかを示した全国的な指針です。

食育は「食べる力を育てる」ことだけではなく、子どもの健康・生活力の基盤をつくる重要な教育的働きとして位置付けられています。

また、保育施設に給食室があることは、単に食事を提供するためではありません。食育推進ビジョンが重視する「生活と保育の一体化」を実現するための大重要な環境であり、食に関する学びが日々の生活と結びつく場となっています。

- 1.保育実践と一体となった食育の推進に取り組みます
- 2.子どもの育ちを保障する食事の提供体制・環境を堅持した食育を推進していきます
- 3.食育の推進は家庭との協働によりすすめます
- 4.施設全体で連携し、食育の推進に取り組みます
- 5.地域の子育て家庭への理解をすすめ、関係機関と連携・協力をして食育の推進に取り組みます

保育園連盟の研修では、毎回はじめに『全国保育士会倫理綱領』と『食育ビジョン』を唱和しています。これは単なる儀式、ではなく、保育者として大切にしたい理念を心に置きながら研修に臨むための、意味ある時間です。

つまり、「どのような姿勢で保育を学び、実践へつなげていくのか」を共有するための大切なプロセスです。

正直なところ、私自身もこの立場(熊本市保育園連盟保育士会会長)になる前は、研修の前の儀式のように捉えてしまう面があったと感じております。日々の保育を振り返る中で、「今日の保育活動」が大切なのではなく、「何のために今日の保育活動を行うのか」という視点をもって取り組むことが、専門職として必要だと実感しています。

そのため今回のおたよりでは、「なぜ、倫理綱領と食育ビジョンを唱和するのか」という意味を明確に共有したいという思いでまとめました。

### 【保育の中の食育】

食育ビジョンの中でも示されているように、『食育』は特別な活動ではなく、子どもの生活すべてに関わる保育の中の大切な取り組みです。

食べることは、心と身体の成長、生活リズム、情緒の安定、人との関わり、言葉の発達など、子どもの発達全体と深く結びついています。

また、保育施設には給食室があり、調理の音やにおい、調理員との関わりなど、日常の体験そのものが食育です。食材に触れる・育てる・味わうなど、生活と遊びの中で学びが生まれることも食育の特徴です。

このように、食育は「食事の時間」だけでなく、心・身体・社会性など、園全体で育まれるものであり、「保育の中の食育」と言われるほどに保育と深く関係しています。

### 【全国教育・保育研究大会】

保育を取り巻く状況が大きく変化していることも踏まえ、全国大会の役割をさらに発揮するべく、今年度から全国保育士会と全国保育協議会の全国大会が一本化し、「全国教育・保育研究大会」として開催されました。

保育に携わる専門性を高めるために、1年以上にわたり学びを深め、保育者が実践研究を行い、論文にまとめることで「研究紀要」を発行しています。「研究紀要」として発行された実践研究は「全国教育・保育研究大会」にて発表されます。

来年度(令和8年11月)の「全国教育・保育研究大会～石川県大会～」では『保育の中の食育』の分野を熊本市が担当することが決まっており、鳳鳴こども園が発表されます。

先日の「全国教育・保育研究大会～東京大会～」では、指導講師である上越大学の野口孝則先生との顔合わせも行われ、今後、研究をすすめられていきます。全国大会での発表は大変な緊張もありますが、保育士会としてもできる限りのバックアップをしていきたいと思っています。皆さん、応援よろしくお願ひいたします。

